



一般社団法人 交通工学研究会

第7回 JSTEシンポジウム(那覇)

第7回JSTEシンポジウムは
令和7年12月4日(木)～5日(金)に
沖縄産業支援センター(那覇市)で開催します。

■日時： 令和7年12月4日(木)～5日(金)

■会場： 沖縄産業支援センター

<https://www.okinawa-sangyoushien.co.jp/>
(〒901-0152 沖縄県那覇市字小禄1831番地1)

■主催： 一般社団法人 交通工学研究会

これまでの開催でも参加者数は増加傾向にありますが、第7回JSTEシンポジウムでも、セッション内容・トピックスの充実を図るとともに、多方面から多くの方に参加していただける方策を検討していく予定です。

開催概要やプログラム、参加費、参加申込方法等の詳細については、今後、機関誌「交通工学」や交通工学研究会ウェブサイトにてお知らせします。



守礼門

JSTEシンポジウムは 交通工学に関する最新技術・情報のショーケース

JSTEシンポジウムは、交通工学研究会における各種委員会等の講習会やセミナー、ミニシンポジウムなどの企画を併せ持ち、一度に様々な体験が可能な、いわばショーケース的な位置づけのイベントです。毎年12月頃に全国各地で巡回開催することとし、2019年福岡開催からスタートしました。

- ・ 交通工学研究会の各種委員会、開催地、スポンサー企業の企画セッションが一堂に集結！
- ・ 講習会、セミナー、シンポジウム等のイベントを一度に体験できます！
- ・ 業務でお悩みのことはありませんか？ 交通工学の専門家・技術者と直接話をするのできるチャンスです。
- ・ 官学民の垣根を越えて意見交換できるチャンスです。国、地方公共団体、警察、高速道路会社、コンサルタント、メーカー、大学、研究機関など幅広い業種から、毎回多くの方が参加されています。

第6回JSTEシンポジウム(福井) ハイライト

- ☑ 令和6年11月28日(木)～29日(金) フェニックス・プラザ
- ☑ 参加者合計：701名（行政：55名、大学：54名、民間他：312名、学生：280名）
- ☑ プログラム概要

◇ 全体セッション

交通工学会の活動紹介、国土交通省・警察庁による話題提供、技術賞受賞講演「全車両軌跡データ（ZTD）の概要および渋滞分析の実例」を行いました。



全体セッションの様子

◇ 委員会・研究グループセッション

道路の交通容量とサービスの質、平面交差・信号、ラウンドアバウト、子供の安全、高速道路単路部の渋滞現象、案内標識、道路安全診断、生活道路、資格制度など充実した9セッションが開催されました。

◇ 国土交通省／警察庁セッション

国土交通省セッションでは、道路計画に関わる最近の話題として、道路計画論の再構築、道路行政に関する研究開発について報告がありました。警察庁セッションでは、道路交通に関する警察の取り組みとして、道路交通法令、交通管制、自動運転を対象とした報告がありました。



セッションの様子

◇ スポンサーセッション

交通マネジメント、地方の交通問題、画像解析、自動運転、DX、デジタルツイン等をテーマとして、幅広い意見交換が行われました。

◇ 地元特別セッション

「大規模自然災害時における交通マネジメント」と題して、国土交通省、福井県、NEXCO中日本、福井県トラック協会から話題提供がありました。

◇ 高速道路会社セッション

「高速道路における逆走事象および歩行者等の誤進入とそれらへの対策」と題して、高速道路会社5社から取り組みの紹介があり、パネルディスカッション方式で議論しました。

◇ 若手技術者発表セッション(新たな取り組みとしてランチョンセッションとして開催)

「若手技術者が考える次世代の交通渋滞対策・TDM」、「若手技術者必須のスキルか？交通シミュレーション」と題して、若手技術者からの取り組み紹介と、意見交換が行われました。

上記の他、スポンサー企業による技術紹介セッション、ブース展示なども実施しました。

※プログラム概要：https://www.jste.or.jp/jstesympo06_info

- ☑ 参加者の声やアンケートより



最新の技術動向、研究を知ることができて満足かつ有意義だった。
／コンサルタント多数

自社の取り組みをアピールするよい機会となった。人脈の形成につながった。
／コンサルタント多数



一般社団法人 交通工学会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-23 錦町 MK ビル 5 階

※開催に関する緊急の連絡は <https://www.jste.or.jp/> の新着情報欄にてお知らせいたします。